

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	リスクマネジメントシステムセミナー ISO31000 規格活用コース
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	詳細につきましては、日本規格協会ホームページをご覧ください。
総時間	6 時間
開催場所	
対象者	・総務、人事、経営企画担当の管理職、スタッフの方々 ・ISO9001、ISO14001:2015 改訂対応に係る、管理責任者、推進事務局の方々
定員	
題目	
プログラム(次第)	<p>【第 1 日】</p> <p><input type="checkbox"/> マネジメント改善に資する最新リスクマネジメント規格の要点 マネジメントから管理へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネガティブの影響の低減からリスクの最適化へ <p><input type="checkbox"/> リスクマネジメントの有効な活用を促す組織環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントフレームワークとは ・マネジメントシステムとして導入する意義 ・リスクマネジメントシステムの概論 <p><input type="checkbox"/> 質疑応答</p> <p><input type="checkbox"/> ISO31000:2009 規格の各ステップの要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク特定 ・リスク算定 ・リスク評価 ・リスク対応 ・本説明においては、品質管理等への適用事例も解説します。 <p><input type="checkbox"/> リスクマネジメントの効率的な導入の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のマネジメントシステムとの整合のとり方 ・導入の初期に気をつけるべき事項 <p><input type="checkbox"/> 質疑応答</p> <p>※プログラムは変更になる場合がございます。</p>
内容	<p>リスクマネジメントの国際規格である ISO31000 は、2009 年 11 月 15 日に発行されました。また、2010 年 9 月 21 日に JIS 規格として、JIS Q 31000:2010(リスクマネジメント—原則及び指針)が発行されています。JIS Q 31000 は、公的組織、民間組織、団体、グループなどすべての組織に適用できる汎用的な規格です。組織が、リスクマネジメントを行うときの組織運営に関する指針、リスクを管理するときの基本的なプロセスの構成要素とその適用に関する指針等が提供されており、組織の規模・業種を問わずに利用できる指針となっています。既に具体的なリスクマネジメントを行っている組織にとっても、組織運営のあり方や、リスクを管理するプロセスを見直す上で、有用な指針です。</p>

	<p>一方、ISO9001 及びISO14001 等のマネジメントシステム規格の改訂作業が進行し、2015 年改訂版におけるポイントとして、共通テキスト付属書 SL では「リスク」の取り扱いを求めており、マネジメントの進め方は ISO31000 と同じ考え方です。ISO TC176 SC2 の ISO 9001:2015 支援文書「ISO9001:2015 改正の概要」においても、主な変更点として「リスクに基づく考え方を重視している」ことが第一に挙げられています。また、「ISO9001:2015 リスクに基づく考え方」という支援文書も作成・公表され、この中で、「ISO31000(リスクマネジメント原則及び指針)は有用な参考資料である。(ただし、強制ではない)。」と述べられています。</p> <p>本コースを受講いただき、規格の理解を深めることで、組織におけるマネジメントを改善し、マネジメントシステムの有益な運営につなげてください。</p>
プログラムの目標	
CPD点数	20 点
料金	一般 : ￥ 22,680 <税込> 、 日本規格協会 維持会員 : ￥ 20,520 <税込>
備考(問い合わせ先)	一般財団法人 日本規格協会 研修ユニット TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675
詳細URL	https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/006/001/001